東村山・生活者ネットワーク

「障がいがあってもなくても 地域で共に暮らす」



市議会議員
白石えつ子

9月東村山市議会報告

一般質問より

インクルーシブ教育の新モデル 「学校作業療法室」の実現を

岐阜県飛騨市では全国で初、小中学校へ作業療法士を配置。作業療法士が学校内に滞在する拠点となる「学校作業療法室」を他地域にも横展開できるインクルーシブ教育確立を目指すプロジェクトを開始した。作業療法士は市内小中学校全校に月2回訪問し、子どもたちの学習や生活の困りごと、教員の子ども達への対応などの相談にのり、子どもが生き生きと学校生活を送るサポートをしている。本市にも「学校作業療法室」は必要と考え、その可能性を聞いた。

教育部長 現在作業療法士1名が小中学校を年3回訪問し、潜在支援ニーズはあると認識している。様々な保護者・学校のニーズに対応を検討する必要があるとの見解。

白石 座っていられない子どもは体幹に課題があると考えられる。改善のために作業療法・感覚統合を加えて対応にあたってほしい。

子ども・若者に生と性を知る、包括的性教育の実践を！

子ども・若者を児童売買春や性搾取、人身取引、児童ポルノ、オーバードーズ（咳止めなどの薬の過剰摂取）からの自殺未遂など様々な危険から、命と身体を守り、自分のことは自分で決める権利を学ぶ包括的性教育が必要。女性支援新法施行後の相談状況や、若者が安心して相談できるユースクリニックの必要性、学校の性教育を制限する「歯止め規定」の改善について質問した。

回答 ●2024年人身取引被害者66人の内、児童は41人（62%）全員日本人だった。

●女性の相談状況に大きな変化はなく、相談員の研修を実施している。

●「歯止め規定」にとらわれるものではなく、文科省の学習指導要領の指導の手引きに基づき、「自分や他を大切にすること」を、児童生徒の発達段階に応じて適切な指導をしている。

●包括的性教育について、保護者の了解を得て二中では産婦人科医から避妊・人工妊娠中絶の話しを聞く等を実践している。

白石 大人・保護者も学ぶ機会が必要と考える。

●本市でも「若者の居場所が必要」とユースクリニックづくりに力を入れ、効果的な居場所づくりの検討がはじまった。

市長 12月から日本版※DBSが施行で全庁的に準備を進めている。包括的性教育の事業成果が出るようにいろいろな機会を捉えて取り組む。

※日本版DBS（こども性暴力防止法）12月25日施行

9月議会報告

「萩山小等複合施設整備事業」主な経過

令和8年度前田建設増収賄事件発覚、前田建設を外し、5事業者に変更の報告

9月議会初日議案、約80億3００万円の債務負担行為設定を可決

最終日一括契約議案 再提案

契約の方法：特命随意契約

契約内容：設計・建設・工事監理・維持管理を一括して契約

契約5事業者：（株）乃村工藝社／（株）類設計室／菊池建設（株）／相羽建設（株）／（株）エフビーエス

賛成14 反対9で可決

以下 **反対の要旨**

増収賄事件を起こしたJV一事業者が他市で指名停止を議会に報告はなし。誓約書を交わしていながら信用を失墜させる道義的責任は免れない。JV事業者の建設実績への懸念。複合化により床面積25.2%削減目標に対し乖離があること。今後、物価高騰スライド条項を採用しても運営面が未定のため、人件費が維持管理費に含まれていないことが判明。建設や維持管理費の見直し。複合化によるコーディネーターの資質と専門性のある人材の登用と公衆衛生環境の再設計等を求めた。

評価した点は学校にエレベーターが設置され、バリアフリーな環境整備は、車椅子の子ども達も自由に移動ができ、直接交流が可能となります。

ここからがスタートです。多様な市民の声を聴くこと。対話を繰り返し、市民に不利益が生じないように、議会軽視にならぬよう注視し、今後も望みます。



現在の萩山小学校



萩山小等複合施設完成予想図

令和7年度決算審査 一般会計・特別会計、公営企業下水道会計とも賛成多数で認定

【認定】

東村山生活者ネットワーク・白石えつ子

令和7年度決算全体の評価：厳しい財政状況を踏まえつつ、当事者の声を尊重し、誰も排除しない施策の充実と持続可能な財政運営を求める立場から認定とした。

主な評価事項：デートDV防止講座、母子保健・産前・産後ケア／ヤングケアラー支援とライフリンクとの連携による自殺防止対策／障害特性に応じた就労支援／小中学校給食費無償化と中学校全員給食（香害への配慮）の準備／5図書館「りんごの棚」設置による読書のバリアフリー化

重点的な課題・要望：デジタル情報アクセシビリティの確保／若年妊娠等防止につながる包括的性教育の拡充／ヤングケアラーのきょうだい支援／障害者余暇活動の場における対話と情報共有／不登校・ひきこもり等の子ども・若者との接点・居場所づくり／誰も排除しないインクルーシブなまちづくり

議員提出議案4件とも全会一致で採択

●ハンセン病問題の解決の促進に関する法律の改正を求める意見書

●非核三原則の堅持を求める意見書

●地方財政の充実・強化および新たな給付金制度に伴う地方負担の撤廃を求める意見書

●愛の手帳3度・4度の知的障害者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

令和8年度一般会計補正予算（第3号）・特別会計共に賛成多数で可決

産後ケア事業は利用者の伸びによる増額

中高生の居場所づくり内容は、秋津公民館のトイレ洋式化・内装変更等

「本の森」ダンススペース整備、工事中の居場所確保に努めるなど質疑答弁があった。

はじめの一歩 カレンダー



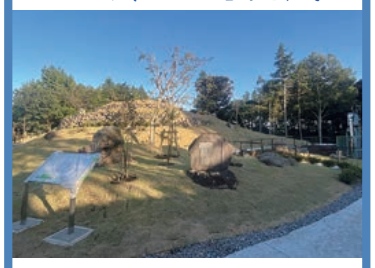
（画像掲載の許可をとっています）

9/25 "声をあげるということ 性犯罪 刑法改正の記録"を鑑賞。当事者の声が届く軌跡を追ったドキュメンタリー。ぜひ、ご鑑賞ください。フラワーデモは、ここから始まった！



10/19 米国産生じゃがいも輸入解禁に反対!!　農水省ガンバレ！スタンディングに参加！ 食料安全保障は、最大の防衛力になる！

「望郷の丘」完成



東村山市には国立ハンセン病療養所多磨全生園があります。国の誤った強制隔離により故郷へ帰ることができない環境を強いられました。

園内には土塁を壊した際に出た土を固めた築山があり、そこに登り、ふるさとに想いを馳せる「望郷の丘」があります。

老朽化による改修工事が終わり、車椅子でも乗降可能なバリアフリー仕様になりました。

園内には、国立ハンセン病資料館もあります。ぜひ、お出かけください。

生活者ネットワーク

活動の柱

原発はいらない
戦争のない平和な暮らし
多様性を認め人権を尊重する

3つのルール

・議員はローテーション
・議員報酬は市民の活動資金に
・選挙はすべて手作り

生活者ネットワークの活動は、議員報酬の一部と皆様のカンパで進めております。今回、振り込み用紙を同封させていただきますので、ご協力いただけましたら幸いです。ニュース配布者募集中！ご協力いただける方はご連絡ください。（薄謝あり）